

「かりいほ」ってどんなところ？

かりいほは、東京都に住んでいた、障害を持った人達が、地元で暮らせなくなって、「都外措置」という条例で、東京都以外にある施設に入所させられた 30 名の人達が農作業をして自給自足の生活をしている施設です。石川施設長は、「3 年たったら、みんな、かりいほを出て、地域社会で生活するんだぞ！」と言い、社会で暮らす練習の為に買い物にいたり、外食をしたり、旅行に行ったりしています。



かりいほ全景

ひまわりに来て何したの？



「もちつもたれつ」で、宿泊体験

ひまわりの家の見学と、仕事の体験をしました。みんないつもと違う仕事でしたが、「おもしろかった」と興奮気味でした。その後ひまわりメンバーと交流会お互いに将来の夢を話したり、ひまわりのメンバーがヘルパー利用して自宅で暮らしていたり、グループホームで暮らして居ることを聞き、やってみたい、やれるかもとかわくわくしていました。実際にグループホームや「もちつもたれつ」さんの共同住宅で 15 名の人それぞれ別れて宿泊体験もしました。「カレーおいしかったよ」「みんな話やすかった」「となりのお風呂屋さん気持ちよかったあ」とみんなにここにきてした。

みんながんばろうね！

かりいほのみんなは、3 年たったら、社会生活に移ります。社会は厳しいけど、仲間がいるし大丈夫！新しい生活がんばれ！